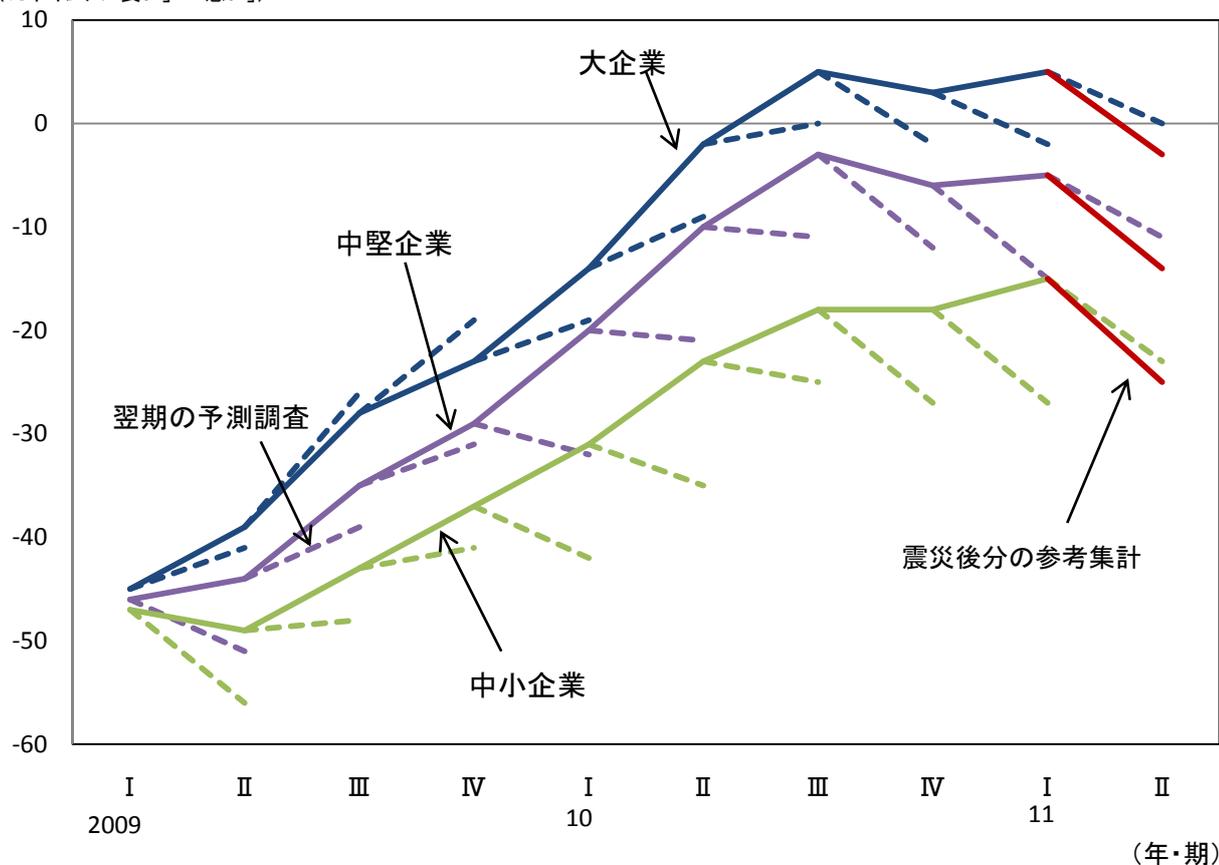


## 東日本大震災の影響

(%ポイント:「良い」-「悪い」)



資料出所 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

- (注) 1) 実線部は調査時点における最近の判断、破線部は調査時点における先行きの判断。  
 2) 2011年3月調査において、3月12日から3月31日までの回収分による先行きの判断を赤線部で示している。

### (厳しい先行き予測と求められる雇用の下支え)

- 景気は2007年に後退過程に入ったが、2009年春には輸出と生産が持ち直し、個人消費にも経済対策の効果が表れた。こうした中で、自律性は弱いながらも景気は持ち直していたが、そこに東日本大震災が発生し、直接の被災に加え、部品供給の途絶、首都圏の計画停電などの諸制約が覆いかぶさることに。
- 雇用情勢は依然として厳しいものの持ち直しの動きがみられた。ただし、東日本大震災の影響が懸念される。今後の着実な景気回復に向け、所得、消費、雇用の自律的な循環と回復が期待されるが、2010年後半以降、景況感に停滞がみられ、震災の影響で先行きの予測はさらに厳しくなっている。
- 消費など国内需要の回復のためには、雇用の下支えが不可欠であり、雇用の維持、創出を支援することで、人々の不安心理を払拭し、社会の安定と持続的な経済成長へとつなげていくことが重要である。